

基本計画別まとめシート

27年度	基本目標1	「みんなで学び合い、話し合えるまち」
	基本計画1-1	福祉人材の育成支援

1 基本計画の趣旨

何をどの様にしたいか	地域福祉を支える人材育成
------------	--------------

2 計画の関連事業

関連事業		前年度の評価	今年度の評価	予算の方向
1	地域福祉の意識を醸成する、継続的な学びの場の提供	A		
2	ライフステージに応じた福祉学習の推進	A		
3	地域福祉専門人材の育成、拡充	A		
4	福祉専門人材の育成・確保のための組織創設	A		

3 計画の評価

計画全体に対するニーズの変化	(社会環境の変化、制度の改正、市民の意見、緊急性等)
今年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設職員研修会は、児童・高齢・障がい分野に偏らず演習を重視して年4回実施した。</li> <li>・福祉のしごと相談会(地域密着面接会)は、さまざまな事業所の参加を得て実施し、福祉専門人材の確保に努めた。</li> <li>・出張講演会(全14回)は、昨年度より参加団体が減少している。本年度より講演内容に取り入れたヤキイモ、防災食、氣の活用いずれにも講演申込があった。</li> <li>・ヤキイモプロジェクトとして市内11か所でヤキイモイベントを開催し、各地域の活動団体との連携が図れた。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設職員研修会は、研修参加者からは高評価も得ているが、参加施設の固定化が見られる。また参加費の社協会員優待について、設定根拠などを再検討。</li> <li>・福祉のしごと相談会(地域密着面接会)の広報費・賃借料の経費負担。</li> <li>・ボランティアマップの今後の更新。</li> </ul>

4 次年度以降の方向性

計画の方向性や改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設職員研修会は、平成26年度から一度も参加のない施設を対象に意向調査を行う。児童・高齢・障がい、どの分野にも共通するテーマ設定を基本に据えつつ、調査結果を踏まえ研修プログラムを検討する。</li> <li>・出張講演会のPR時期を精査し、有効なPRを行う。</li> <li>・傾聴ボランティアフォローアップ講座は、活動者だけでなく、まだ活動について知らない市民にも参加してもらえるような講座の開催を目指す。</li> <li>・ボランティアマップは、新しい介護予防・日常生活支援事業実施による社会資源資料作成と兼ね合いを図りながら、今後の更新内容、方法、時期について検討する。</li> </ul>
-------------	---

【実績の評価】A 適切・計画通り B 概ね適切・概ね計画通り C 改善の余地がある D 改善する点が多い

【予算】↑大幅に増加(50%以上) ↗やや増加(10~50%未満) →現状維持(±10%) ↘減少(-10%以上)

基本計画別まとめシート

27年度	基本目標1	「みんなで学び合い、話し合えるまち」
	基本計画1-2	福祉情報の共有化の推進

1 基本計画の趣旨

何をどの様にしたいか	地域福祉情報が必要な時に適切に入手できる
------------	----------------------

2 計画の関連事業

関連事業		前年度の評価	今年度の評価	予算の方向
1	福祉情報が必要な人に適切に届き活用できる、収集・発信、環境の整備	A		
2	小地域内の身近な福祉情報の発信、共有化の推進	A		

3 計画の評価

計画全体に対するニーズの変化	(社会環境の変化、制度の改正、市民の意見、緊急性等)
今年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な福祉情報がより多くの市民に行きわたるために、社協だよりやホームページの改善を図った。</li> <li>社協だよりで、ユニバーサルフォントを用い、また記事の構成等を見直し、読みやすい紙面となるように努めた。</li> <li>ホームページでは、後援事業や助成情報の掲載内容を見直し、知りたいことがすぐに見つかるようレイアウトを変更した。</li> <li>昨年度に続き、新たな広報モニターを公募し、社協だよりを中心に2か月に一度アンケートによる第三者評価を実施した。</li> </ul>
課題等	より市民に分かりやすく、必要な市民に情報が届くよう常に意識し、市民の意見を活かす工夫が必要である。

4 次年度以降の方向性

計画の方向性や改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民にとって役立つ情報の内容の拡大について検討を行う。</li> <li>市民にとって適切な情報が十分に行き届いているか、広報モニターの声を参考に検討し、改善に取り組む。</li> <li>広報モニターの更なる活用について検討を行う。</li> </ul>
-------------	---

【実績の評価】A 適切・計画通り B 概ね適切・概ね計画通り C 改善の余地がある D 改善する点が多い

【予算】↑大幅に増加(50%以上) ↗やや増加(10~50%未満) →現状維持(±10%) ↘減少(-10%以上)

基本計画別まとめシート

27年度	基本目標2	「みんなで協力し、創っていくまち」
	基本計画2-1	地区社協を各地で設置

1 基本計画の趣旨

何をどの様にしたいか	地域課題のいくつかが、地域住民の力で解決されている
------------	---------------------------

2 計画の関連事業

関連事業		前年度の評価	今年度の評価	予算の方向
1	小地域住民福祉活動の取り組みを推進し、地域の实情に合わせた地区社協の設置	A		

3 計画の評価

計画全体に対するニーズの変化	(社会環境の変化、制度の改正、市民の意見、緊急性等) 介護保険制度の改正に伴い、町田市では平成29年4月から新しい介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)が実施される。今回の改正では、これまでのサービスに加え、多様な担い手によるさまざまなサービスが求められている。市内各地域では少しずつ見守りや日常生活上のお手伝い(有償サービス含む)が進んでいるが、地域により偏りがあり、絶対数が不足している状況である。そうした地域の課題解決に取り組む住民を組織化し、新しく開発するために、各市区町村に「生活支援コーディネーター」が配置される。今年度から福祉総務課が所管する「第三次地域福祉計画」と社協の「第四次地域福祉活動計画」を協働で作成していくことから、双方の計画が連動して一体的な計画が策定されることになる。
今年度の実施状況	・出張講演会(全14回)を開催し、内6回は防災についての講演会となり、いまだに関心は高いと思われる。 ・南町田福祉ネットワークでは、「なんでも相談室『ちょこっと』」、玉川学園地区社協では、「玉ちゃんサービス」が住民のたすけあい活動としてスタートした。 ・各地区協議会については、地区担当職員が協議体のメンバーとして各種会議や意見交換会に出席、行事等に参加した。
課題等	町田市が設置している市内9か所の地区協議会において、たすけあいの福祉活動の取り組みが始まるまでは、まだ時間を要する。そのような状況における社協が果たす役割と連携のあり方が課題である。

4 次年度以降の方向性

計画の方向性や改善点等	・出張講演会は、内容は変更せず定着を図る。PR時期について見直しを予定している。 ・各地区社協に対して、適正な運営支援を継続して行っていく。 ・介護保険制度の改正に伴う総合事業における社協の役割について、市高齢者福祉課と継続して検討を行いながら、各高齢者支援センターと連携を行う。
-------------	--

【実績の評価】A 適切・計画通り B 概ね適切・概ね計画通り C 改善の余地がある D 改善する点が多い

【予算】↑大幅に増加(50%以上) ↗やや増加(10~50%未満) →現状維持(±10%) ↘減少(-10%以上)

基本計画別まとめシート

27年度	基本目標2	「みんなで協力し、創っていくまち」
	基本計画2-2	小地域の支え合い活動の立ち上げ支援

1 基本計画の趣旨

何をどの様にしたいか	地域福祉情報が必要な時に適切に入手できる
------------	----------------------

2 計画の関連事業

関連事業		前年度の評価	今年度の評価	予算の方向
1	小地域における市民の支え合い活動等の情報の把握と提供	A		
2	地域の福祉活動団体の支援・育成	A		
3	小地域でのボランティア活動につながる講座開催	A		

3 計画の評価

計画全体に対するニーズの変化	(社会環境の変化、制度の改正、市民の意見、緊急性等)
今年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいサロンスタッフ研修会を5回実施した。</li> <li>・歳末たすけあい配分金への理解を深めるため、配分申請説明会を1回から2回に増やした。</li> <li>・歳末たすけあい募金の市民への周知・理解を得るため、街頭募金(全4回)を行った。</li> <li>・各地域団体主催のイベントへ積極的に参加し、団体の情報収集と社協のPRを行った。</li> <li>・地域の福祉活動、ボランティア団体の活動を市民にPRする機会として、「ここからはじまる☆ぷらちなライフ」を開催(2月)。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロン対象の研修会を夏休み期間中に開催したが、参加者が少なかった。</li> <li>・歳末たすけあい街頭募金の日時、場所の検証が必要。</li> </ul>

4 次年度以降の方向性

計画の方向性や改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度内に開催予定のふれあいサロン代表者会議で聞き取りを行い、今後は開催時期を夏休み期間以外で企画したい。</li> <li>・歳末たすけあい配分申請説明会は1日2回開催に加え、更に1回(平日の昼間)実施し、参加しやすくする。</li> <li>・歳末たすけあい街頭募金運動を継続するにあたり、日程と場所の調整をする。</li> </ul>
-------------	---

【実績の評価】A 適切・計画通り B 概ね適切・概ね計画通り C 改善の余地がある D 改善する点が多い

【予算】↑ 大幅に増加(50%以上) ↗ やや増加(10~50%未満) → 現状維持(±10%) ↘ 減少(-10%以上)

基本計画別まとめシート

27年度	基本目標3	「みんなで支え合い、安心のあるまち」
	基本計画3-1	地域生活を支援する取り組みの推進

1 基本計画の趣旨

何をどの様にしたいか	異世代の人々が支え合いながら地域で暮らしている
------------	-------------------------

2 計画の関連事業

関連事業		前年度の評価	今年度の評価	予算の方向
1	成年後見制度等の活用により、判断能力の不十分な方々等の権利を擁護し、安心した地域生活が過ごせるような取り組みの推進	A		
2	誰もが自由に利用できる、地域の居場所づくり	A		
3	地域の子ども達の成長を支援する取り組みの推進	A		
4	社協にしかできない、ニーズの高い公的制度外サービス提供の仕組みづくり	A		

3 計画の評価

計画全体に対する ニーズの変化	(社会環境の変化、制度の改正、市民の意見、緊急性等) ・平成28年4月より、現在の13学童保育クラブに加えて、新たに森野学童保育クラブを運営する。 ・町田市の負担金で実施している仲間の家事業については、学童保育、放課後等デイサービス事業などの法整備が整い、仲間の家の利用件数が減少している。
今年度の実施状況	・前年度に引き続き成年後見制度推進に向けて、講演会、学習会などの広報啓発に取り組んだ他、申し立てを検討している方に向けた相談対応や、後見人として受任している方を対象とした連絡会を開催した。 ・市民後見人育成事業については、第1期受講生に対する予定カリキュラムを全て終えた。今後は市民後見人候補登録に向け最終選考を実施し、受任事案が提案され次第受任に向けた調整を行なう状態となった。 ・ふれあいサロンは、年度当初に9サロン(うち子育てサロンが1か所)が登録解除し、6サロン(うち子育てサロン1か所)が新規で登録した。 ・ふれあいサロン活動予定表を民協定例会で配布し、市民への情報提供に努めた。また東日本大震災の避難世帯にも配布し、地域交流へのきっかけを提供した。 ・学童保育事業担当では、地域子育て支援事業を全クラブで実施した。 ・障害者総合支援法に基づき、放課後等デイサービス事業を実施している他の事業所にヒアリングを行った。
課題等	・市民後見人向けマニュアルの早期作成と市民後見人候補者の質の確保、維持。 ・市民後見人受任事案の確保 ・地域子育て支援事業の運営方法や広報について、初めての実施ということもあり、クラブ間で差が生じた。 ・仲間の家事業のあり方について。

4 次年度以降の方向性

【実績の評価】A 適切・計画通り B 概ね適切・概ね計画通り C 改善の余地がある D 改善する点が多い  
 【予算】↑大幅に増加(50%以上) ↗やや増加(10~50%未満) →現状維持(±10%) ↘減少(-10%以上)

基本計画別まとめシート

計画の方向性や改善点等	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民後見人候補者への支援の一環としてマニュアルを作成配付するとともに、定期的な研修会を実施する。</li><li>・関係機関への市民後見人育成事業の周知及び受任事案の紹介を依頼し、受任案件の確保に努める。</li><li>・第2期市民後見人育成に向けた取り組みを進める。</li><li>・学童保育事業担当では、地域子育て支援事業について、クラブ間で情報共有に努め、運営内容及び広報活動の充実を図る。</li><li>・仲間の家事業のあり方について町田市と協議。</li></ul>
-------------	--

【実績の評価】A 適切・計画通り B 概ね適切・概ね計画通り C 改善の余地がある D 改善する点が多い  
【予算】↑大幅に増加(50%以上) ↗やや増加(10~50%未満) →現状維持(±10%) ↘減少(-10%以上)

基本計画別まとめシート

27年度	基本目標3	「みんなで支え合い、安心のあるまち」
	基本計画3-2	複合的な相談に対応できる総合的支援部門の設置

1 基本計画の趣旨

何をどの様にしたいか	複合的な相談に対応できる組織力・職員のスキル向上
------------	--------------------------

2 計画の関連事業

関連事業		前年度の評価	今年度の評価	予算の方向
1	相談者を横断的にとらえ、総合的な相談に対応できる部門設置の検討	A		
2	相談に対応できる、職員体制や研修制度の検討	A		

3 計画の評価

計画全体に対するニーズの変化	(社会環境の変化、制度の改正、市民の意見、緊急性等)
今年度の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSW研修を通して、コミュニティーソーシャルワーク実践に向けた必要な知識の理解度、ワークでの実践を自己評価し、その状況を集計・分析した。</li> <li>・担当部門と関わりのある関係機関のみならず、他部門と関わりのある機関についても地域の社会資源として、全ての職員が把握、連携につながるようリストの作成に取り掛かった。</li> <li>・職員のCSWとしての知識、意識、技術の向上のため、CSW研修(応用編)を実施した。</li> <li>・職場内事例検討会を実施し、担当を越えて一つの事例を検討した。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSW研修のフォローアップをどのように行うかが課題である。</li> </ul>

4 次年度以降の方向性

計画の方向性や改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困難事例解決に向けた社協の取り組みの実践方法、内容を検討する。</li> <li>・町田社協が目指すCSW像に近づくために必要なスキル等を修得するための取り組みを実施する。</li> <li>・心配ごと相談の対応方法について、職員による面談を取り入れる等問題解決の充実を図る。</li> <li>・2年間行ったCSW研修の報告書まとめを基にし、実際の業務にどの位活かしているか、今後のフォローアップとしてどのような取り組みが必要かを検討する。</li> <li>・相談支援体制充実のための職場内事例検討会をの機会を充実させ、定着を目指す。</li> </ul>
-------------	--

【実績の評価】A 適切・計画通り B 概ね適切・概ね計画通り C 改善の余地がある D 改善する点が多い

【予算】↑ 大幅に増加(50%以上) ↗ やや増加(10~50%未満) → 現状維持(±10%) ↘ 減少(-10%以上)

## 重点計画まとめシート

重点計画1	小地域福祉活動の展開による地区社協の設立
-------	----------------------

項目の趣旨 (PLAN)	<p>社会情勢や地域社会の変容により、制度だけでは解決できない複雑で多様な福祉ニーズに対応するため、地域住民相互による新たな支え合いの仕組みとして、小地域福祉活動の展開による地区社協を設置します。また、小地域における支え合い活動を推進し、住民の地域力を高めるための取り組みを行います。</p>
-----------------	--

### 計画期間中の成果指標

前期(H24-H26)	中期(H25-H27)	後期(H26-H28)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広範囲を対象とした啓発的取り組みの検討、実施</li> <li>・設立検討を希望する地域を対象にした取り組み</li> <li>・支え合い活動団体についての調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立検討を希望する地域を対象にした取り組み</li> <li>・ふれあいサロン活動に関心のある方を対象にした取り組み</li> <li>・支え合い活動団体に関する情報提供の取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立希望地域を対象にした設立準備会等の取り組み</li> <li>・新規2か所設立</li> <li>・支え合い活動団体についてのしくみ検討の取り組み</li> </ul>



<p><b>(DO) これまで(今年度)の取り組み</b></p> <p>H27</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区社協(玉川学園、南町田)への運営支援を行った。</li> <li>・出張講演会(全14回)はヤキイモ、防災食、氣の活用に申し込みがあった。</li> <li>・ふれあいサロンの活動紹介、および活動案内チラシ作成、配布(年4回)。</li> <li>・町田市が進める地区協議会の会議や行事等に地区の担当職員が出席した。</li> <li>・町田市が進める「地域福祉計画」について協力し、社協の「地域福祉活動計画」の策定について市と連携して取り組む。</li> </ul>
--



<p><b>(CHECK) 達成状況と成果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小地域福祉活動の一環として、町内会自治会を対象とした出張講演会は14件実施。昨年度よりは減。</li> <li>・ふれあいサロンは昨年度同様に活動案内チラシを民協定例会で配布し、市民へ情報提供を実施した。</li> <li>・今年度玉川学園・南大谷、忠生、原町田、相原地区協議会が設立(計9か所)。社協はメンバーとして参加した。</li> <li>・支え合い活動の内容については、各地域の活動団体主催のイベントに参加。参加団体の情報収集を行った。</li> </ul> <p>市の地域福祉計画、社協の地域福祉活動計画の策定に向けた「地区別住民懇談会」(市内10カ所)に参加し、協力した。</p>
---



<p><b>(ACTION) これからの取り組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出張講演会は内容は変更せず、定着を図る。PR時期の見直しを予定している。</li> <li>・現在のふれあいサロンが市民や地域のニーズに合っているか検証する。</li> <li>・小地域における支え合い活動団体の情報収集については、生活支援コーディネーターの動きの中で取り組む。必要に応じて立ち上げ・運営支援を行う。</li> <li>・市福祉総務課、市民協働推進課、高齢者福祉課等と連携を密にしながら、事業に取り組む。</li> </ul>
--



<p><b>課題と今後の対策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出張講演会の防災に関するテーマは変わらず関心が高いが、件数が減少した。</li> <li>・ふれあいサロンは市内76ヶ所であり、サロン数は横ばい。またPR先の拡大ができていない。</li> <li>・介護保険制度の改正に伴う総合事業における社協の役割</li> <li>・地区協議会の構成メンバーとしての社協の役割</li> </ul>
---



重点計画まとめシート

重点計画2	福祉人材の育成
-------	---------

<p>項目の趣旨 (PLAN)</p>	<p>身近な地域の課題や潜在化したニーズの解決に向け、地域福祉活動を専門に担える人材を育成・支援します。また福祉施設職員の研修会の開催など人材確保への支援を行います。</p>
-------------------------	---

計画期間中の成果指標

前期(H24-H26)	中期(H25-H27)	後期(H26-H28)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の社会資源、人材および地域力の調査・把握</li> <li>・地域福祉コーディネーター養成講座の検討および実施</li> <li>・市内福祉施設等職員研修会の開催および階層別研修会の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉コーディネーター養成講座の実施および修了生の活動先の開拓</li> <li>・市内福祉施設等職員向け研修会(階層別含む)の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉コーディネーター養成講座修了生の活動フォロー</li> <li>・市内福祉施設等職員向け研修会(階層別含む)の開催</li> <li>・障がい、児童施設職員を対象とした研修の検討</li> </ul>



<p>(DO) これまで(今年度)の取り組み</p> <p>H26</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉のしごと相談会」(地域密着面接会)の開催(8月/1回)</li> </ul> <p>H27</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉のしごと相談会」(地域密着面接会)の開催(8月/1回)</li> <li>・福祉施設職員を対象として研修会を4回実施。</li> </ul>
--



<p>(CHECK) 達成状況と成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉のしごと相談会」(地域密着面接会)は、町田市・東社協・ハローワーク町田と共催。介護人材開発センター・法人連の協力を得て実施。来場者126人(H26/181人)採用人数10人(H26/13人)。来場者数に比して、採用は安定した。</li> <li>・施設職員を対象として実践的な研修を4回(うち2回は6時間/平日の日中)開催。昨年度に比べ参加者微減。</li> </ul>
---



<p>(ACTION) これからの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉のしごと相談会」(地域密着面接会)は、引き続き協力団体と協力して実施。</li> <li>・福祉施設職員研修会は、どの分野にも共通するテーマ設定を基本に据えつつ、ニーズ調査の結果を踏まえて研修プログラムを検討する。また、昨年度、今年度をとおして1度も参加のない施設を対象に調査を行う。</li> <li>・広報及び会場の見直しと工夫を行い、費用を削減する。</li> </ul>
--



<p>課題と今後の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設職員研修会は、参加者からは高評価も得ているが、参加施設は固定化傾向にある。</li> <li>・広報費・賃借料の経費負担。</li> </ul>
--

重点計画まとめシート

重点計画3	成年後見制度等の活用による権利擁護支援の充実
-------	------------------------

項目の趣旨 (PLAN)	関係者、関係機関とのネットワークを強化し、地域住民が活躍できる仕組みが出来ている。
-----------------	---

計画期間中の成果指標

前期(H24-H25)	中期(H26)	後期(H27-H28)
関係機関とのネットワーク構築のための広範囲な啓発、市民後見推進事業、監督業務の充実	関係機関との連携の強化、市民後見推進事業開始、後見業務の充実	関係機関との連携のもと相談窓口の強化、市民後見推進事業、監督業務の充実



(DO) (これまで)今年度の取り組み ・市民後見人育成事業の実施 ・市民後見人に対する相談体制の検討 ・市民後見人に対する実費保証、報酬、保険の有り方について整理 ・法人後見監督として、後見人に対し適切な支援を行う。
---



(CHECK) 達成状況と成果 ・市民後見人育成研修(第1期)の所定のカリキュラムを修了し、市民後見人の登録基準に達した者から登録開始。 ・市民後見人を対象とした専門相談の仕組みを確立。市民後見人への相談窓口についての周知の実施。 ・市民後見人活性化基金の設置。保険の有り方を整理し、市民後見人に周知。 ・法人後見監督の継続受任と後見人に対する支援実施。
---



(ACTION) これからの取り組み ・市民後見人候補者に向けた定期的な研修会の実施 ・市民後見人候補者用マニュアル作成 ・関係機関への市民後見人育成事業の周知及び受任事案の紹介依頼 ・第2期市民後見人育成に向けた取り組み実施
---



課題と今後の対策 ・市民後見人候補者の質の確保、維持。 ・市民後見人候補登録者のモチベーションの維持。 ・市民後見人第1期生の受任に際しての適切な支援 ・市民後見人向けマニュアルの作成
--